福組サイト

Section 2 - Features linking to longer blogposts (?)

Welcome to FukuGumi

この度は福組オフィシャルサイトへのご訪問、誠にありがとうございます。

福組では、高品質で安心安全なCBD製品をお求めやすい価格で提供することが

使命です。ウェルネス効果が多数あるCBDで、皆さまの幸福感をサポートします。

CBD (Cannabidiol; カンナビジオール)のウェルネス効果

抗炎症効果／痛み

ECS（EndoCannabinoid System; 内在性カンナビノイド経路）から抗炎症効果が発揮され、疼痛への効果も期待されているCBD。 疼痛剤に頼りがちな膝、腰のしつこい痛みにCBDを試してみませんか？

E: Most importantly, cannabidiol is an anti-inflammatory compound. It interacts with the body’s endocannabinoid system to reduce inflammation, and thereby control pain. Because of this property, CBD is now commonly used in exercise recovery.

(famous atheletes who swear by cbd : <https://www.cbdsnapshot.com/these-5-professional-athletes-swear-by-cbd-heres-why/>)

幸福感・ストレス解消

The [endocannabinoid](https://www.sciencedirect.com/topics/neuroscience/endocannabinoids) system is a modulator of [neurotransmitter release](https://www.sciencedirect.com/topics/neuroscience/neurotransmitter-release) and is involved in several physiological functions.　The system has been implicated in the modulation of anxiety

内在性カンナビノイドシステムは、神経伝達物質放出のモジュレーターであり、不安感や落ち着かない気持ちにも関与。CBDでECSのバランスを取れば安定感や幸福感にもつながるので、世界中のセレブがCBD愛用者になっているのも納得。

睡眠 –

習慣的な睡眠不足はガンや脳梗塞、糖尿病や慢性肥満へのリスクも高めます。バランスが取れているECSはストレスや不安にも耐性があり、安定した睡眠習慣を生理的に調整します。旅行時の時差ボケ対策にも！

CBDと運動

適度な運動に筋肉痛はつきものですが、この痛みが運動を習慣づける妨げにも。CBDは抗炎症効果によって筋肉痛も和らげるので、運動後の回復にも有効。一流アスリートも欠かせないリカバリーツールとして使用されています。

CBDと運動（？）：

The Basic CBD info section:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| アルツハイマー病  (CNS) | in vitro 及び in vivo のアミロイドβ蛋白(Aβ)惹起性の神経炎症及び神経変性反応における抗炎症性、抗酸化性、抗アポトーシス性 | |
| パーキンソン病  (CNS) | ドーパミン作動性損傷の減衰(in vivo); 神経保護; 精神症状評価の向上とアジテーション(不穏・興奮)、患者における悪夢と攻撃的行動の減少 | |
| 多発性硬化症  (?) | マウスにおける EAE(実験的自己免疫性脳脊髄炎:Experimental autoimmune encephalomyelitis)改善の徴候、抗炎症性と免疫調節特性 | |
| 疼痛  (pain/inflam) | 他の治療法に効果がみられない(薬剤抵抗性のある)神経因性疼痛を患う患者における鎮痛作用 | |
| 精神障害  (CNS/psych) | 統合失調症の動物モデルにおける行動変化及びグリア(神経膠)的変化の減衰; ケタミン誘導性の症状に対する抗精神障害特性 | |
| 不安  (CNS/psych) | 筋緊張、不穏状態、疲労、集中困難の減少、不安とストレスのげっ歯類動 物モデルにおける社会的相互行為(他の個体との関わり)の向上; 患者における社会不安の減少 | |
| 抑うつ  (CNS/Psych) | 抑うつのげっ歯類遺伝モデルにおける抗うつ作用 | |
| がん  (onco) | 広範囲に及ぶがんの種類における抗増殖及び抗浸潤活性; オートファジー介在性がん細胞死の誘発; 化学予防作用 | |
| 関節リウマチ  (inflammation/autoimmunity) | 動物モデルにおける TNF-αの抑制 | |
| 炎症性腸疾患と クローン病  (inflammation / autoimmunity) | in vivo 及び ex vivo におけるマクロファージ動員及び TNF-α分泌の抑制;クローン病患者における疾患活性指数の減少 | |
| 心血管疾患  (CVD) | in vitro 及び in vivo における抗酸化及び抗炎症特性を通した梗塞サイズの減少 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| Inflammation / pain / jionts |  |
| Psych / anxiety / performance? |  |
| Cancer |  |
| CVD |  |
|  |  |